

今回は『イスラームのアダム——人間をめぐるイスラーム神秘主義の源流』（慶應義塾大学出版会,2021）を題材に、ヒューマニズム／人文学と人間論について考えてみたいと思います。

イスラーム・ジェンダー学科研&グローバル関係学科研主催 Online Book Talk／巣ごもり読書会

イスラームのアダム

語り手 澤井 真(天理大学)、長沢 栄治(東京外国語大学)



【登壇者紹介】

◆澤井 真(さわい まこと)

スーフィズム(イスラーム神秘主義)の代表的思想家・イブン・アラビーの思想が、女性に注目することで新たな人間論を構築しており、ジェンダー論にも大きな影響を与えていることを知る。「男／女の解消—スーフィズムの人間観」(『ジェンダー研究』21号、2019年)など。天理大学おやさと研究所講師。

◆長沢 栄治(ながさわ えいじ)

ヒューマニズム／人文学研究にとって「イスラーム・ジェンダー学」の視角がなぜ重要なのか、「イスラームのアダム」論から勉強したことについて、何かコメントをしてみたいと思います。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー／東京大学名誉教授。

【今回の課題図書】

澤井 真『イスラームのアダム——人間をめぐるイスラーム神秘主義の源流』
(慶應義塾大学出版会,2021)

2021

3/29

Zoom を用いたオンライン開催
Mon 20:00~21:00

【参加方法】

※ZoomのURLを当日正午までにe-mailアドレスにお送りします。

【主催】

・科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表:長沢 栄治)

・グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて:関係性中心の融合型人文社会科学の確立 B01班規範とアイデンティティ(代表:酒井 啓子)

【問い合わせ先】

イスラーム・ジェンダー学科研事務局